

製品安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名 : グリピカ S a l a l a
製品コード :
会社名 : 株式会社 日本エコシス
住所 : 群馬県前橋市亀里町 782-1
電話番号 : 027-265-7474 FAX 番号 : 027-265-7475
担当部門 :
電話番号 : FAX 番号 :
メールアドレス :
推奨用途及び使用上の制限 : 強アルカリ性洗浄剤

2. 危険有害性の要約

GHS分類:

《物理化学的危険性》

引火性液体 : 区分外

《健康に対する有害性》

急性毒性 (経口) : 区分 4 皮膚腐食性・刺激性 : 区分 1 (腐食性)
眼に対する重篤な損傷 : 区分 1 呼吸器感作性 : 区分 1
皮膚感作性 : 区分 1 生殖毒性 : 区分 2
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露) : 区分 1 (神経系、肝臓)、区分 2 (呼吸器)
特定標的臓器・全身毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (神経系、肝臓、腎臓、呼吸器系、消化管、精巣)

《環境に対する有害性》

水生環境急性有害性 : 区分 3 水生環境慢性有害性 : 区分外

(上記で記載がない危険有害性は「区分外」、「分類対象外」又は「分類できない」に該当する)

GHSラベル要素:



危険

危険有害性情報:

飲み込むと有害 (経口) 重篤な皮膚の薬傷
重篤な眼の損傷 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ
吸入するとアレルギー、喘息または呼吸困難を起こすおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
臓器の障害 (神経系腎臓)、臓器の障害のおそれ(呼吸器)
長期にわたる又は反復暴露による臓器の障害 (神経系、肝臓、腎臓、呼吸器系、消化管、精巣)
水生生物に有害

注意書き:

《安全対策》

全ての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
使用前に取扱説明書 (MSDS) を入手すること。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取り扱い中は皮膚に触れないようにし、個人用保護具や局所排気装置を使用してばく露を避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、防毒マスク、保護面を着用すること。
屋外、換気の良い場所でのみ使用し、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は手や付着部を石鹸を用いて十分に洗うこと
環境への放出を避けること。

《対応》

清浄な水でよく口の中を洗い、水又は牛乳を飲ませる。直ちに医師の手当てを受ける。
アルカリ性の為吐き出させるとかえって危険である。意識が無いときは口から何も与えてはいけない。
直ちに、新鮮な空気のある場所へ移動させ、安静に努める。水でうがいをし、口、喉を良く洗い流す。直ちに医師の診断を受ける。

10. 安定性及び反応性

安定性：	常温では安定、加熱すると分解する場合がある。
危険有害反応性：	強酸と激しく反応する。 銅、アルミニウム、亜鉛、錫、及びこれらの合金、ゴム等を腐食する。これらの金属と反応すると水素を発生し、これが引火爆発することがある。
避けるべき条件：	日光、熱、酸化剤、強酸との接触
危険有害な分解生成物：	窒素酸化物、一酸化炭素、二酸化炭素等

11. 有害性情報

急性毒性（経口）：	計算値 LD50=約 1300mg/kg より区分 4 とした。
皮膚腐食性／刺激性：	pH が 11.5 を超えるため、区分 1 とした。
眼に対する重篤な損傷／刺激性：	pH が 11.5 を超えるため、区分 1 とした。
呼吸器感作性：	区分 1 に該当する成分の合計が 1% を超えるため、区分 1 とした。
皮膚感作性：	区分 1 に該当する成分の合計が 1% を超えるため、区分 1 とした。
生殖毒性：	区分 2 に該当する成分の合計が 3% を超えるため、区分 2 とした。
特定標的毒性・全身毒性 （単回ばく露）：	区分 1（神経系・肝臓）に該当する成分の合計が 10% を超えるため、区分 1 とした。 区分 1（呼吸器）に該当する成分の合計が 1% を超え 10% 以下であるため、区分 2 とした。
特定標的毒性・全身毒性 （反復ばく露）：	区分 1（神経系・肝臓・腎臓・呼吸器系・消化管・精巣）に該当する成分の合計が 10% を超えるため、区分 1 とした。

12. 環境影響情報

水生環境有害性（急性）：	区分 2 に該当する、あるいは該当する可能性のある成分の合計が 25% を下回るが 2.5% 以上のため、区分 3 とした。
水生環境有害性（慢性）：	区分 3 に該当する、あるいは該当する可能性のある成分の合計が 25% を下回るため、区分外とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物：	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、内容物を明確にし、処理業者に危険性、有害性を十分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装：	関連法規ならびに地方自治体の基準に従い、適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去した後処分する。
その他注意事項：	

14. 輸送上の注意

国連分類：	クラス 8（腐食性物質）	国連番号：	UN3267（その他の腐食性物質）
海洋汚染物質：	該当せず		
特別の安全対策：	運搬に際しては容器に漏れのない事を確かめ、転倒、落下、損傷がないよう積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。その他、労働安全衛生法などの法令に定めるところに従う。		

15. 適用法令

消防法：	非該当
化学物質管理促進法（PRTR 法）：	第 1 種指定化学物質：(20) 2-アミノエタノール
毒物及び劇物取締法：	非該当
労働安全衛生法：	第 57 条の 2(令 18 条の 2)通知対象物質 (21)2-アミノエタノール (319)水酸化ナトリウム 規則第 326 条：腐食性液体
下水道法、水質汚濁防止法：	該当(pH)
水質汚濁防止法：	施行令第 3 条の 3（事故時の措置 指定物質）水酸化ナトリウム
危険物船舶運送及び貯蔵規則：	危規則第 2、3 条危険物告示別表第 1：腐食性物質
航空法：	施行規則第 194 条危険物告示別表第 1：腐食性物質
廃棄物の処理及び清掃に関する法律：	産業廃棄物規則

16 その他の情報

参考文献：

- 1) 原料メーカーMSDS
- 2) 化学物質評価研究機構 CREI 有害性評価書
- 3) 製品評価技術基盤機構 GHS 分類結果
- 4) 中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター GHS モデルMSDS 情報
- 5) 他

ここに記載された情報は、当社の最善の知見に基づくものですが、全ての情報を網羅しているものではなく、情報の完全さ、正確さを保証するものではありません。新たな情報を入手した場合には追加、訂正されることがあります。全ての化学品には未知の有害性があり得る為、取り扱いには細心の注意が必要です。注意事項は通常の実施を対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途、用法に適した対策を実施して下さい。本品の適正に関する決定は使用者の責任において行ってください。